

平成 27 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ヒューマンウェブ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 秀 則
(コード番号：3224)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 森 田 博 全
グ ル ー プ 管 理 本 部 長
(TEL.03-6667-6606)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 3 月 19 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 27 年 3 月期 (予想)			平成 27 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 3 月期 (実績)	
			構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高		3,907	100.0	23.5	2,808	100.0	3,164	100.0
営 業 利 益		251	6.4	13.0	106	3.8	222	7.0
経 常 利 益		242	6.2	12.0	99	3.6	216	6.8
当期 (四半期) 純利益		161	4.1	4.9	63	2.3	153	4.9
1 株 当 た り 当期 (四半期) 純利益		132 円 59 銭			52 円 64 銭		131 円 64 銭	
1 株 当 た り 配 当 金		0 円 00 銭					0 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 26 年 3 月期 (実績) 及び平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 当社は、平成 26 年 12 月 3 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。上記では、平成 26 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期 (四半期) 純利益並びに 1 株当たり配当金を算出しております。
3. 平成 27 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数 (200,000 株) を含めた期中平均発行済 (予定) 株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当分 (最大 57,300 株) は含まれておりません。

以 上

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月19日

上場会社名 株式会社ヒューマンウェブ 上場取引所 東
 コード番号 3224 URL http://www.oysterbar.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 秀則
 (役職名) 常務取締役 (氏名) 森田 博全 (TEL) 03(6667)6606
 問合せ先責任者 グループ管理本部長
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,808	-	106	-	99	-	63	-
26年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 63百万円(-%) 26年3月期第3四半期 -百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	52.64	-
26年3月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年四半期増減率を記載していません。
 2. 当社は、平成26年12月3日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益額を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,966	591	30.1
26年3月期	1,497	527	35.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 591百万円 26年3月期 527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,907	23.5	251	13.0	242	12.0	161	4.9	132.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成26年12月3日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。平成27年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、当該株式分割が平成27年3月期の期首に行われたと仮定して算出した金額を記載しております。
 3. 平成27年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(200,000株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大57,300株)は含まれておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	1,210,900株	26年3月期	1,210,900株
27年3月期3Q	－株	26年3月期	－株
27年3月期3Q	1,210,900株	26年3月期3Q	－株

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成27年3月期より行っているため、平成26年3月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載していません。
2. 当社は、平成26年12月3日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、金融政策の効果や経済政策への期待感から円高是正、雇用環境の改善など、緩やかな景気回復が見られるようになってきたものの、個人消費におきましては、持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、先行き不透明な状況が続いております。

国内外食産業においては、円安等による原材料価格の高騰や、人手不足の傾向が強まっており、人件費の高騰が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画の達成を目指して直営店舗事業において5店舗の新規出店を行いました。これにより平成26年12月末日現在の店舗数は28店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,808,236千円、営業利益は106,811千円、経常利益は99,814千円、四半期純利益は63,736千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①直営店舗事業

新規出店に向けての物件開発に努めるとともに、当該期間においては5店舗の新規出店を行いました。平成26年4月、5月にそれぞれ「オイスターテーブル」（東京都台東区、港区）をオープン、また同年11月に和テイストを取り入れた新ブランドである「ザ・カーブ・ド・オイスター」（東京都中央区）をオープン、さらに同年12月に海洋深層水による牡蠣の浄化をアピールする新ブランドである「キンカウカ スペシャルティオイスター」（東京都町田市、新宿区）を2店舗オープンしました。また、既存店舗におきましては、食材の輸送に係る運賃高騰によるコスト負担増の影響があったものの、客数・客単価の増加により、売上高は順調な伸びを示しました。

以上の結果、直営店舗は28店舗、売上高は2,571,212千円、セグメント利益は87,308千円となりました。

②卸売事業

一般飲食店向けの卸売販売を強化するための営業部員の増員により、新規契約が増加したことから、売上高は順調な伸びを示しました。種苗生産については、牡蠣生産者への種苗販売により、計画通りの収益を得ることが出来ました。

以上の結果、売上高は607,179千円、セグメント利益は15,003千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,966,663千円（前連結会計年度末比469,110千円増加）となり、負債は1,374,938千円（前連結会計年度末比405,373千円増加）、純資産は591,724千円（前連結会計年度末比63,736千円増加）となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ151,095千円増加し、912,372千円となりました。これは、現金及び預金が22,303千円増加、新規出店に伴う売上増加により売掛金が117,700千円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ318,015千円増加し、1,054,290千円となりました。これは、新規出店に伴う設備投資などにより有形固定資産が297,758千円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ261,200千円増加し、776,886千円となりました。主な要因としましては、買掛金が29,763千円増加、新規出店に伴う資金調達により1年内返済予定の長期借入金が49,393千円増加、新規出店に伴う固定資産の増加によりその他に含まれる未払金が71,131千円増加、その他に含まれる未払費用が32,052千円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ144,172千円増加し、598,051千円となりました。これは、新規出店に伴う資金調達により長期借入金が135,370千円増加、資産除去債務が27,548千円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ63,736千円増加し、591,724千円となりました。これは、利益剰余金が63,736千円増加したことが要因であります。

(研究開発活動)

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、31,041千円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の連結業績予想における売上高は、直営店舗事業においては通期で5店舗の出店を終えていることから順調な推移を示しており、卸売事業においても新規契約数の増加等により堅調な伸びを示しております。これらを背景に、3,907百万円（前連結会計年度比23.5%増）となる見通しであります。利益面については、営業利益は251百万円（前連結会計年度比13.0%増）、経常利益は242百万円（前連結会計年度比12.0%増）、当期純利益は161百万円（前連結会計年度比4.9%増）となる見通しです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,929	475,232
売掛金	178,503	296,204
原材料	65,727	84,979
その他	64,116	55,955
流動資産合計	761,277	912,372
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	445,741	688,498
その他	48,283	103,284
有形固定資産合計	494,024	791,783
無形固定資産		
その他	4,377	9,171
無形固定資産合計	4,377	9,171
投資その他の資産		
敷金及び保証金	211,961	229,420
その他	25,911	23,915
投資その他の資産合計	237,873	253,335
固定資産合計	736,275	1,054,290
資産合計	1,497,552	1,966,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,892	163,655
短期借入金	—	20,022
1年内返済予定の長期借入金	92,028	141,421
未払法人税等	4,007	56,211
賞与引当金	13,850	—
ポイント引当金	17,028	21,209
その他	254,880	374,367
流動負債合計	515,685	776,886
固定負債		
長期借入金	189,836	325,206
長期未払金	161,687	144,023
資産除去債務	85,079	112,628
その他	17,275	16,194
固定負債合計	453,878	598,051
負債合計	969,564	1,374,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,500	99,500
資本剰余金	148,510	148,510
利益剰余金	279,977	343,714
株主資本合計	527,987	591,724
純資産合計	527,987	591,724
負債純資産合計	1,497,552	1,966,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	
売上高	2,808,236
売上原価	836,152
売上総利益	1,972,084
販売費及び一般管理費	1,865,272
営業利益	106,811
営業外収益	
受取利息	46
雑収入	586
営業外収益合計	633
営業外費用	
支払利息	7,630
営業外費用合計	7,630
経常利益	99,814
特別利益	
国庫補助金	20,134
特別利益合計	20,134
税金等調整前四半期純利益	119,949
法人税等	56,212
少数株主損益調整前四半期純利益	63,736
四半期純利益	63,736

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		63,736
その他の包括利益		
その他の包括利益合計		—
四半期包括利益		63,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		63,736
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営店舗事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,571,212	237,024	2,808,236		2,808,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	370,155	370,155	△370,155	—
計	2,571,212	607,179	3,178,391	△370,155	2,808,236
セグメント利益	87,308	15,003	102,311	4,500	106,811

(注) 1. セグメント利益の調整額4,500千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。